

福島県鉄工機械工業協同組合 経営研究委員会

発行日平成 14 年 8 月 23 日

祝！組合会報第1号発行

- この会報紙は2ヵ月に一度皆様のお手元にお届けします。
- 組合からの大切なお知らせを掲載します。
- 毎回いろんな話題を提供します。

新理事長挨拶

藤橋進一郎

組合会報発刊に向けて

この度、組合会報を発刊するにあたり一言、御挨拶を申し上げます。組合員の皆様におかれましては、厳しい経済環境の中、日々大変なご努力をなされておる事とご推察申し上げます。

組合運営の中で現在、共同受注事業に於いては厳しさを増して来ており、新たな受注機会を模索しておりますが、市場情報を、特化したネットワークにより、より良い生産体制を確立して行きたいと考えております。

理事長として6～7月は就任の挨拶回りで多忙な日々を送り、皆様のご意見を聞く機会も無いまま失礼致しております事お許し戴きたいと思っております。

平成14年度は、組合員の皆様に組合の運営方針並びに活動状況を、会報を通じてお知らせしようと二ヶ月に一度発行する事と相成りました。組合員の皆様の情報、組合に対する意識の高揚、組合員であるが為に何かを得ることが出来るという組合作りに、一丸となった取り組みが出来れば、会報発行の意義が見出せると存じます。今後は、皆様からの御意見（アイデア）を頂戴しながら、紙面づくりをして行きたいと考えておりますのでご協力の程、宜しく御願ひ申し上げます。更に、高度情報化社会の中で、中小企業は分野別に職人の手による感性と独創性のある物づくりこそが、自然淘汰されて行く環境の中で生き残れる要因となり、これらの事を語り合える組合組織を目指し、今後委員会ごとの活発な活動に期待し、未来ある地場企業として発展して行く為に、各委員長の活躍も大いに期待しておりますので、宜しく御願ひ致します。

（物事が難しいから、我々はあえて行わないのではない。我々があえて行わないから、物事が難しくなる）セネカ（紀元前一世紀ローマの政治家）



前理事長挨拶

星野清一郎

新しい時代への幕開き

この度まがりなりにも2期4年の任期を終え後任の藤橋新理事長にバトンタッチ出来てほっとしているところです。在任中は皆様のご協力のお陰で何とか理事長を務めることが出来ました。心から御礼を申し上げます。

さて新しい酒は新しい革袋にの諺もあるように新体制には古いしがらみが足を引っ張らないようにと努めてタッチしないよう心がけていました。ましてや改めて一文を載せるなど考えても居ませんでした。しかし紙面の構成上というわけで心ならずもこうして居るわけです。

皆さん、新理事長を中心に一致協力して新しい幕開きを祝い共に参加して自分たちの力で未来を勝ち取りましょう。



副理事長挨拶

(武石 功)



このたびの総会において副理事長に再任され就任致しました。
平成14年度も厳しい環境の下で事業展開を計らなければならない訳で、計画実現の鍵を握っているのはマネジメントであります。持てる経営資源で何が出来るのか。どんな組織にしたいか。目標を達成する過程において自分が微力であっても、組合員の皆様と共に参画し、藤橋理事長が、示されている基本方針に基づき、結果や成果を出すために、組織の中で積極的に自分の役割を果たすことの実現に向けて邁進したいと思っております。

副理事長挨拶

(佐藤信雄)



今回小生、副理事長を仰せ付かり重責を感じております。
現在の景気は新聞、テレビ等でお分かりと思いますが、本当に我々中小企業は厳しい状況下に置かれており、いつ倒産してもおかしくない状況にあります。大企業は円高の為、賃金の安い海外に生産を移し、その為国内の仕事量は激減しております。(特に量産物)。この不況をいかに乗り切ることが問題です。現在インターネットの普及で大企業の購買部は見積りを即時に全世界より募集し、発注している状況です。これに勝つためには、とにかく低コストでの生産を確立し、当組合で作り上げたFAMIONET、県の産業振興センターの活用、そして足を利用し受注の拡大を計るしかないのではないのでしょうか。政府の円安政策等で国内に仕事が戻ってくればありがたいですが、なんととも期待薄であります。この不況を悲観的に考えるとどうしても消極的になってしまうので、楽観的に物事を考え、積極的に行動し、なんとかこの不況を皆で乗り切りましょう。

共同受注委員会

(委員長 星 公祐)



今回新理事長のご指名によりこの経済不況真っ只中の中、共同受注委員会をまとめる立場に成りました事、非常に大きな責任の重さを感じているところであります。また、わが組合においての当委員会は歴史的に見てもその象徴的な役割を果たしたのとはまぎれもない事実でありその重責を務めるに当り身の引き締まる思いをしているところであります。私たちは、今後の組合の恒久的発展の為にもここでまた新しい方向性を模索しなければならない時期にきていることを共通の認識として連帯の歩を進める事ができれば新しい未来が開ける筈です。理事長のご指導、そして組合員の皆様の御協力を得ながら微力ですが頑張る所存ですので宜しくお願い致します。

経営研究委員会

(委員長 永澤俊二)

我々製造業を取り巻く環境はここ10年来更に厳しさを増してきており、従来のやりかたの延長線では経営が成り立たなくなってきました。

圧倒的な中国との価格差と戦うには同じ土俵の上では敵わないでしょう。我々はどのような手段を駆使しても生き抜き、そして利益が出る企業にしていかなければなりません。

いまこそ我々組合員それぞれの知識、と情報、それに技術、設備を交流して経営体質の強化を進めましょう。

経営研究委員会では組合員皆様の経営にお役に立つことを目的にしています。

経営、事務、金融、会報、以上4つの事業を行います。その都度、協力または出席のご案内を致しますので宜しくお願いします。



安全衛生委員会

(委員長 伊藤 滋)

会員皆様方におかれましては、日頃より組合の活動に多大な御協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

私は、企業経営の基盤の一つである人材育成は不可欠なものであり、その一翼を担ぐ安全教育はたいへん重要なものと考えております。

当安全衛生委員会は、設立当時の基本認識に立ち返って、安全衛生診断(設備機械の整備点検・ヒヤリハットの事例研究)、安全衛生教育(能力向上教育・各種資格取得技能講習会等の案内)、健康づくり支援(健康診断実施案内・健康づくり体力づくりを進めるためのパンフレットの配布)等の活動を通じて、会員皆様の安全意識の高揚と安全で快適な職場づくりのお役に立てれば幸いです。ここに本年度の全国安全運動、「めざすゴールは危険ゼロ 進めよう職場の安全管理」のスローガンを掲げ、組合員各位の労働災害防止及び安全衛生活動の着実な実施、並びに各委員会事業への参加協力を御願いたします。



親善委員会

(委員長 鈴木 巖)

この度、親善委員長に就任しました鈴木です。一期二年間を副委員長の金子、引地、両氏と委員のみなさまと組合活動に協力していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。去る、6月26日委員会を開き、平成十四年度の事業計画の話し合いをした結果、次の様になりました。

8月23日 納涼会、9月、委員会開催、10月、芋煮会までを話し合った。尚、毎年行って、おりました親善旅行はこの所の厳しい状況を考えて見送りにしたいと思っております。

又、毎年10月に行っております芋煮会を今までとはちょっとちがった味のある楽しい芋煮会をと思っておりますので、皆様から実施具体案等をお寄せ頂ければ幸いです。



組合員拡大委員会

(委員長 日下部 勉)



このたび、組合の役員改選により委員会組織も再編成され、不肖私が組合員拡大委員会委員長に委嘱されました。なにぶん、新設委員会なので経験の浅い私が、果たして組合員の拡大に貢献していけるのかどうか、多少の不安を感じております。しかしながら、これからは、会員皆様の情報や協力を仰いで、一社でも多くの方々との出会いを求めて努力して参りたいと思います。その上で余裕があれば、私自身の描く年間計画を少しずつ実現していければ幸いです。

いずれにしても、組合の本領発揮の原資は多くの会員が集まる事により大きな力となり、中小企業が抱える問題解決のための大きな意見となって、政治や行政を揺り動かす原動力になる事であると思えます。

不況を乗り越える為にも今こそ原点に帰って、小さな力も多く集まれば大きな力となる事を再認識して、組合員拡大のために皆様からもお力をお貸しくださる様お願い致しまして、簡単ですが、就任の挨拶と致します。

青年部会

(部会長 引地正樹)



基本方針

21世紀がスタートして早1年半が過ぎようとしています。私たちの鉄工業界においてはいまだに景気回復の兆しを感じることができません。また回復するにせよ、ある程度までではないかと考えられます。今後益々企業経営環境が悪くなっていく状況で、会社の存続、後継の問題などのほか次々に押し寄せる課題に対して適切に対処していかなければこの業界では生き残れないかもしれません。そこで青年部では各会員企業の諸問題を取り上げて1つでも解決できるような活動をしていきたいと考えております。

事業計画

1. 青年部会員企業における諸問題の提議(6月から8月)
2. その諸問題についての討議(9月、10月)
3. 諸問題の解決案のまとめ(10月)
4. CAD講習会の開催
5. 親組合事業への協力参加
6. 共同受注の勉強(通年)
7. 福島中小企業青年中央会への参加

青年部では、随時会員を募集しております。
お気軽に声を掛けて下さい。

組合事務局からのお知らせ

安全衛生委員会

健康診断の実施

平成14年9月11日水曜日 午前 当組合会議室
午後 東日本診療所

是非この機会に受診方よろしく!

第53回全国労働衛生週間 平成14年10月1日～7日

スローガン「自分でチェック!私の健康 みんなでチェック!働く環境」

ポスターを配布しますので、事務所や工場の身近なところにご利用ください。

福島市主催

ISO9000シリーズ認証取得実践講習会

平成14年10月17日木曜日午後3時 福島グリーンパレス

(株)永沢工機 取締役会長 永澤俊二 氏 代表取締役社長 永澤 耕三氏が講師になり
認証取得 のノウハウを伝授しますので、是非ご参加を!

中小企業経営セミナー

第1回 「中小製造業の現状と展望」平成14年9月6日金曜日午後1時30分福島グリーンパレス

講師 富田希一郎氏 (株)福島工作所 下請企業の抱える問題を探求

谷島 昇氏 (株)コスモテック 福祉器具の開発に情熱を掛ける

高松 尚久氏 (株)高松製作所 博士号を持つ社長が原子模型の販売でベンチャー
企業を立ち上げ

コーディネーター西川 和明 福大教授 参加自由です。

福島市中小企業人材育成支援事業

仕事に必要な知識習得のため受講する通信教育の受講料を一部助成
(受講料の1/2一人年間3万円限度)します。是非ご利用を!

中小企業診断士・技術士派遣事業

経営面や技術面への助言・指導を求めようとする中小製造業に中小企業診断士・技術士を
派遣します。

募集期間平成14年7月1日～平成15年3月31日まで

特許権取得助成

福島市内の中小製造業の方へ出願審査請求の手数料の1/2を助成します。

以上お問い合わせにつきましては、組合事務局(024-558-8011)まで

編集後記

暑さのなかにも、ふと秋の気配を感じるようになりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか、今回はじめて会報を出すことになり仕事の忙しいなか各委員長に原稿を書いて頂き有り難うございました。紙面の構成など不慣れなため読みにくいかと思いますが、今後ともご指導よろしくお願い致します。 Ikeda 協力青年部

福島県鉄工機械工業協同組合 URL [Http://www.tekkou.or.jp](http://www.tekkou.or.jp) Email mail@tekkou.or.jp

〒960-8057 福島市笹木野字南中谷地21-4

TEL 024-558-8011 FAX 024-558-8013